

恐竜博物館



教育委員 吉田 一徳

4月の話になりますが、福井県にある博物館などの文化施設や、歴史的建造物を見てきました。

その中でも特に印象に残ったのは、やはり福井県立恐竜博物館でしょう。

ちょうど訪れたのが土曜日だったので、多少の混雑は予想していましたが、午前9時の開館前に着いたにもかかわらず、多くの人たちが列をつくって並んでいました。

入館してエスカレーターで下り、常設展示に向かうと、そこには50体の恐竜全身骨格標本が近い種類ごとに所狭しと並び、昔好きだった恐竜たちを目の前にしてテンションは一気に最高潮でした。

特に好きだった、ブラキオサウルスなどの竜脚類と呼ばれる超巨大な骨格標本や、長い3本の角をもつトリケラトプス類の骨格標本を、実際に近くで観察することができました。

また、地元福井県で発掘された恐竜を詳しく展示しているゾーンもあり、発掘当時の様子や化石標本の重要性などを前面に出した展示になっていました。

他にも、ダイノラボという恐竜の生活や繁殖などを詳しく展示している一室があったり、人気のキャラクターとコラボした展示もあり、大人も子どもも共に学習したり、楽しめる施設でした。

北海道から福井県まで足を運ぶ機会はなかなか少ないと思いますが、一度、立ち寄ってみてはいかがでしょうか。



教育委員コラム

Column of the member of the board of education

No. 42
2025/8

発行／	弟子屈町教育委員会
教 育 長	岩原 勝行
教育長職務代理者	金井 秀明
委 員	菅原 誓之
委 員	吉田 一徳
委 員	宮田 昇子

みんなで作り上げた学校祭

教育長 岩原 勝行

7月12、13の両日、弟子屈高校の第64回学校祭が開催されました。

今年のテーマは「宵彩(しょうさい)」～戯れに咲く宵の綺譚(きたん)～。1日目は、仮装でのダンスアトラクションを摩周の里夏まつり会場で披露しました。2日目は、歌やダンス、バンド演奏など6組が出場した自由発表、学年ごとの模擬店やクラス展示など、力を出し合っただけで思い出に残る学校祭をつくり上げました。

テーマ通り、夕闇に灯る光の中、生徒たちの想いが彩りとなって咲き誇っていました。



歌川国芳展見聞記

教育長職務代理者 金井 秀明



歌川国芳展を見してきました。“国芳(1797～1861)は、中国古典の「水滸伝(すいこでん)シリーズ」で武者絵の国芳として人気を博し、その後美人画、歴史画や、西洋画の技法を取り入れた風景画など様々な作品を手掛け、その才能を発揮しました”(パンフレットより抜粋)私が一番感心したのが水滸伝シリーズです。大殿筋、太もも裏やふくらはぎの筋肉、すね毛、足親指の毛までリアルに描写されていました。背中の刺青(いれずみ)も見事で、解説には当時の江戸っ子も水滸伝の浮世絵の刺青を真似て彫ったとの記載も有りました。もちろん国芳の画力もありますが、その絵を忠実に版木に彫る彫師(七色刷りだと色別に7枚彫る)、7枚の版木をずらずらず1枚の紙に刷り上げる摺師(すりし)の匠の技にも感動。驚くべきは浮世絵中の漢字すべてにルビが振られていることです。本当に細かい作業で感動しました。

※写真は撮影許可のある場所で撮影したものです

移動教育委員会

教育委員 菅原 誓之



毎年2回行われる移動教育委員会が、6月25日に弟子屈小学校にて開催されました。校長先生・教頭先生が傍聴する中、議案審議が行われ、承認となりました。

その後、各学年の授業参観をさせていただきました。気温が高い日で、大型の扇風機とサーキュレーターがフル回転でしたので、なるべく早くのクーラー設置を再確認しました。最後にPTA役員との懇談が行われ、学校への要望などを聞かせていただきました。

この日の給食は摩周和牛を使った牛丼でした。皆さんで美味しくいただきました。

運動会のお弁当

教育委員 吉田 一徳

6月に入り、町内の各小中学校で運動会や体育祭が開催されました。今年は弟子屈小学校の運動会と弟子屈中学校の体育祭を見させてもらい、子どもたちが一生懸命走ったりする姿に声援を送りました。

弟小の運動会で川上指導室長と、自分たちの小学校時代を思い出して「組体操で『蛇の皮むき』をやったり、家族みんなでお弁当を食べたりしたよね」と、今の運動会との違いを話していました。

昔と比べてしまうと今の運動会は少し寂しい気もしますが、児童生徒の一生懸命に競技に向き合う姿を見ることができれば、保護者として今の運動会もありなのかなと思います。

でもやはり、皆でおいしいお弁当食べたいなあ。



様々なゲームで交流

教育委員 宮田 昇子

町教育委員会主催の摩周ウォークラリーゲームが7月19日、摩周観光文化センターで開催されました。

ウォークラリーはチームでいろいろなゲームやスポーツ種目を行い、各種目の合計点数を競うもの。参加者同士の交流を目的に毎年行われています。



今年もたくさんの子どもたちが参加。

協力し合っただけで各種目に挑戦し、楽しみながら親睦を深めました。



プレーは勿論、選手たちの歓喜の雄叫びや悔し涙などに心を掴まれながら、毎年高校野球を観ています。最後の夏を迎えるまで重ねてきた努力、深めてきた仲間との絆…。部活を通して選手たちが掴んできたものすべてに思いを巡らせ、部活っていいなあと思っています。

中学校、高校3年生は部活引退を迎えている頃でしょうか。悔いなく引退を迎えられることを祈ります。また、そういった実りある活動ができるよう、支援していきたいと思っています。

(宮田)

編集後記